

# 平成 18 年度社団法人音楽電子事業協会 事業報告

(理事会 運営委員会)

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

## (1) 理事会の開催

### 1 平成 18 年 5 月 10 日 平成 18 年度第 1 回理事会

- ・ 社団法人音楽電子事業協会「第 10 回通常総会議案書」の承認
- ・ 平成 17 年度収支決算及び監査報告の審議と総会への付議、承認
- ・ 平成 18 年度収支予算修正案の審議と総会への付議、承認
- ・ 定款変更の審議と総会への付議、承認
- ・ 平成 18 年度役員改選の審議と総会への付議、承認
- ・ 平成 18 年度 専門委員会委員長及び事務局体制の承認

### 2 平成 19 年 3 月 22 日 平成 18 年度第 2 回理事会

- ・ 平成 18 年度事業報告案及び収支決算見込案の審議
- ・ 平成 19 年度事業計画案及び事業予算案の審議
- ・ 役員交代案の審議
- ・ 第 11 回通常総会の開催及び付議事項の承認

### 3 書面審議

- ・ 8 月 21 日 クリプトン・フューチャー・メディア株式会社の入会が審議承認された。
- ・ 11 月 2 日 株式会社ダイマジックの入会が審議承認された。
- ・ 11 月 20 日 ベスタクス株式会社の入会が審議承認された。
- ・ 9 月 15 日 3 名の理事、及び副会長交代の件が審議承認された。

## (2) 運営委員会

平成 18 年度第 1 回運営委員会 開催(平成 19 年 2 月 15 日)

- ・ 平成 18 年度事業報告が各委員会から報告、検討された。
- ・ 平成 18 年度収支着地見込み案を事務局から提案、検討された。
- ・ 平成 19 年度事業計画案(委員会別)が各委員会から提案され、検討された。
- ・ 平成 19 年度事業計画案に基づき、平成 19 年度収支予算案が検討された。
- ・ 各委員会単位での情報交換に加え、変化の激しい時代環境に対応するために、各委員長・部会長含め運営委員会のメンバーでメーリングリストを立上げ、横断的な情報交換、意見交換をすることとした。  
テーマとして MIDI 検定等の MIDI の普及、次世代 MIDI 等の会員各社や一般社会への情報発信、事業委員会の活動テーマなどの議論が必要なが指摘された。  
このメーリングリストで平成 19 年度の楽器フェアへの参画(フェア事業)のテーマについて検討した結果、次年度の楽器フェア出展は見送ることとなった。
- ・ 平成 19 年度第 1 回理事会、及び第 11 回通常総会の予定(5 月 10 日)が案内された。

# 平成 18 年度社団法人音楽電子事業協会 事業報告

(専門委員会)

平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

## (1) 製品安全・環境委員会

外部団体からの情報収集について積極的に検討し、それに基づいて事業説明会、講習会を企画し実施した。特に専門2分野、安全と環境の夫々に照準を当て外部講師による専門セミナーを実施した。

委員会全体では、欧州環境規制関連セミナーを開催した。

安全規格部会で、タイ国安全規格に関するセミナー、及びオランダから講師を招き、「新 EMC 指令」をテーマとしたセミナーを開催した。

## (2) MIDI規格委員会

今期初頭に、新生、MIDI規格委員会を設定し、従来のMIDI規格委員会幹事会を発展的に終了し、新たに、昨年度から議論が開始された、次世代MIDI規格等の積極的な検討・審議を中心とした活動が開始された。

新規テーマとして、現在のMIDI規格をベースとした、上位規格の設定を目指して、今後のMIDI規格を将来のより幅広い分野での各種用途を想定し、MMAと密接な協力関係の下、より自由度のある次世代規格として設定すべく、新規スタートした。

1 月にはNAMMツアーを企画し、例年より多くの会員の参加を得て実施した。同時に現地で開催されたMMA/AMEI 合同会議には AMEI からテーマ毎に、複数名が3日間にわたり参加し直接現地 MMA スタッフと、貴重な時間を割いて真剣な議論がもたれた。今後更に検討を継続し、新たな規格のまとめに向け鋭意準備する計画となっている。

## (3) 著作権・ソフト委員会

本委員会では、急速に変化している市場に対応すべく、インターネット・モバイル部会を、音楽配信部会と変更し、従来のカラオケ部会、ソフト規格部会と合わせて、3部会体制とした。

委員会定例会を計 11 回開催し毎回多くの参加者により、新たな各種のテーマについて従来以上に活発な議論がなされた。

### ・ カラオケ部会

JASRAC 使用料規程の見直し他の協議

JASRAC データ取り扱いについての意見交換の実施

イーライセンスにより、「業務用通信カラオケ規程案」の説明を受けた。

### ・ 音楽配信部会

NMRCを通じて、JASRAC 等音楽管理事業者との協議を実施した。又 JASRAC とは、インターネット CM、及びサブスクリプション規定のにつき合意した。

### ・ ソフト規格部会

前年度からの以下の2テーマについて継続して検討を実施した。

楽器内臓コンテンツの保護に関するWG(GCP-WG)では、弁護士などの意見も参考にしながら、AMEI の統一見解(案)及び補足説明のための Q&A の作成を検討中。

DMN-WG(インタラクティブ配信に於ける演奏データの可視的利用に関する WG)では、サブスクリプション勉強会を実施した。

### ・ セミナーの実施

著作権管理事業法の勉強会を3回、正副委員長会議を1回実施した。

・ その他

CCD(デジタル時代の著作権協議会)に於いて、総務省・経団連がバックアップし、すべての著作権団体のID化を検討中である。

平成18年度著作権・ソフト委員会実施内要

日 時	主たるテーマ	セミナー他
4月13日 (13:30 15:00)	1、JASRAC インタラクティブ配信規定一部変更(音声番組及びポッドキャスト)合意の報告 2、サブスクリプション意見交換 3、各分会連絡事項報告他	
5月11日 (13:30 15:00)	1、「JASRAC 管理楽曲の取り扱い変更の件」意見交換 2、サブスクリプション規程案検討 3、各分会報告、WG 進捗状況報告	
6月8日 (13:30 14:30)	1、佐々木委員長より挨拶、今年度の方向性について 2、インターネットCM について 3、各分会、WG、透かし prj の報告	・インターネット・モバイル部会 音楽配信部会へ名称変更 ・6月22日 (拡大)音楽配信部会
7月13日 (13:30 15:00)	1、インターネットCM、サブスクリプション報告及び意見交換 2、管理事業者間の取り扱い楽曲変更の件 3、各分会報告、WG 進捗状況報告 4、(仮称)次世代着メロ構想について	
9月14日 (13:30 15:00)	1、インターネットCM 規定合意の報告 2、イーライセンス規定変更について 3、各分会報告、WG 進捗状況報告	・8月4日 (拡大)音楽配信部会
10月12日 (13:30 15:00)	1、サブスクリプション合意に向け報告(ナップスターサービス開始) 2、GCP-WG「AMEI 統一見解書(案)」説明 3、イーライセンス-スカラオケ事業参入の件 4、MIDI 規格委員会よりアクティブ着メロのスケジュール説明	カラオケ部会長交代 和田康孝氏 長谷川篤氏 アクティブ着メロのデモ
11月9日 (13:30 14:40)	1、サブスクリプション、JASRAC との合意報告 2、JASRAC より「ストリーム最低使用料の見直し」協議申入れの件 3、ストリーム按分の件報告 4、サブスクリプション等の報告業務について 5、各分会、WG の報告	
12月14日 (15:30 17:00)	1、JASRAC へのサブスクリプション(携帯型カラオケサービス)に関する要望について 2、JASRAC、カラオケ協議進捗状況他報告 3、GCP-WG 報告、Q&A 作成中 4、ストリーム按分について 5、実務 WG 問題、アクティブ着メロ報告	忘年懇親会(参加70名)
1月11日 (13:30 15:00)	1、佐々木委員長より年始の挨拶～今年のテーマ ( 実務エネルギーの軽減策 規定の見直し～シンプル&分かりやすさ) 2、音楽配信部会～今年の協議テーマ 3、NMRC 実務 WG:昨年活動のまとめ 4、各分会、WG の報告	1月22日 管理事業法勉強会(第1回)
2月8日 (13:30 15:00)	1、音楽配信:JASRAC との協議テーマについて 2、カラオケ部会:今後のJASRAC 協議の方向について 3、GCP 今年度 次年度へむけての活動	2月8日 管理事業法勉強会(第2回)
3月8日 (13:30 15:00)	1、来期委員会体制について 2、JASRAC とのインタラクティブ配信協議報告 3、各分会、WG からの報告	3月9日 管理事業法勉強会(第3回)

(4) 透かし推進プロジェクト

- ・ プロジェクト会議を2回実施した。
- ・ 対JASRAC 交渉に於いて、インターネットロボットに透かしデコーダーを搭載することについての覚書を検討した。
- ・ 普及活動として、従来どおり以下の3グループで活動した。
  - 技術ワーキンググループ
  - 運営ワーキンググループ
  - 普及ワーキンググループ

(5) メディア・コンテンツ委員会

- ・ 全体会議を7回実施した。
- ・ 委員会活動として、以下の2テーマについて、夫々セミナーを開催した。
  - バイノーラルマイクとデジタルステレオレコーダーR-09による実験と評価を実施した。
  - AMEI会員を対象としたセミナーの実施
  - テーマ：「コンパクトサラウンドシステムの最前線」
  - 講師：東京電機大学教授 浜田晴夫 教授
  - 参加者：会員会社から18名参加(及びメディア・コンテンツ委員会関係者)

(6) MIDI検定委員会

- ・ 検定委員会を2回開催した。
- ・ 第9回3級試験と第8回2級筆記試験の実施(12月3日)
- ・ 第8回2級実技試験の実施(2月17日から 東京/大阪にて)
- ・ 4級認定講座を年間を通し実施
- ・ 指導者認定講座の実施
  - 4級指導者認定講座 受講者 39名(累計280名)
  - 3級指導者認定講座 受講者 37名(累計200名)
  - 2級筆記指導者 受講者 125名(本年初年度)
- ・ 2級実技試験体験セミナーの実施(1月13日)
  - 今年度新たに、MIDI検定の更なる普及を目的として、会員企業であるアップルコンピュータ株式会社、ヤマハ株式会社の協力の下に取り組んだ。
  - 参加者22名、来年度以降の応用展開に期待
- ・ 海外状況
  - 中国 12月3日、日本と同一問題にて、第3回3級試験を実施した。
  - 韓国 現在準備継続中
  - その他、海外からの問い合わせは、台湾、シンガポール、マレーシア等

MIDI検定試験合格者数と合格率の推移

級	内容	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	累計
3級試験		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	
	実施日	H11.1.1	H12.1.2	H13.1.2	H13.12.	H14.12.	H15.12.	H16.12.	H17.12.	H18.12.	
	受験者	2,964	2,737	2,145	2,009	1,871	1,965	1,742	1,469	1,275	18,177
	(内学校)	1,275	1,591	866	1,040	904	968	917	715	659	8,935
	合格者	2,413	1,543	1,536	1,411	1,342	1,460	1,233	1,056	731	12,725
	合格率	81.41%	56.38%	71.61%	70.23%	71.73%	74.30%	70.78%	71.89%	57.33%	70.01%
2級1次試験			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
	実施日		H12.5.2	H13.1.1	H13.12.	H14.12.	H15.12.	H16.12.	H17.12.	H18.12.3	
	受験者		979	594	587	391	470	404	429	308	4,162
	合格者		350	240	290	228	292	108	189	187	1,884
			35.75%	40.40%	49.40%	58.31%	62.13%	26.73%	44.06%	60.70%	45.27%
2級2次試験			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	
	実施日		H12.7.1	H13.3.1	H14.2.9	H15.2.8	H16.2.1	H17.2.1	H18.2.1	H19.2.1	
	受験者		328	295	404	391	387	234	211	202	2,452
	合格者		127	64	21	171	37	97	66	74	657
			38.72%	21.69%	5.20%	43.73%	9.56%	41.45%	31.28%	36.63%	26.79%
受験者計		2,964	4,044	3,034	3,000	2,653	2,822	2,380	2,109	1,785	24,791

中国でのMIDI検定3級試験推移

	第1回	第2回	第3回
試験日	2004/12/05	2005/12/04	2006/12/03
試験会場	北京 蘭州 温州 鄭州 天津 (全国5会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 (全国7会場)	北京 天津 瀋陽 杭州 温州 無錫 成都 青島 (全国8会場)
受験者数	112名	252名	144名
合格者数	87名	223名	129名
合格率	77.7%	88.5%	89.6%

(7) 事業委員会

- ・ 委員会を5回開催した。
- ・ 全体会議にて、今期方針を検討したが、結果として本年度、2006 楽器フェスティバル出展は見送りとした。
- ・ AMEI独自のイベント開催案も鋭意検討したが、諸般の事情から本年度は断念。
- ・ 各委員会との連携で、会員獲得等を目的にセミナーの開催をも検討したが本年度は、断念した。

(8) 広報委員会

- ・ AMEI News を3回発行した。(Vol.29 4月発行、Vol.30 7月発行、Vol.31 11月発行。)
- ・ AMEI 公式ホームページの更新。
- ・ AMEI の現状に合わせて、入会案内パンフレットを更新した。